

公募推薦入試 [専門高校、専門学科・総合学科対象] [小論文型]

[専門高校、専門学科・総合学科対象]は、現役生対象の入試です。

[小論文型]は、現役生だけでなく既卒生(2021年度以降卒業)も出願可能。

※公募推薦入試(専門高校等対象)は同一試験日の公募推薦入試(2教科型)や、他の公募推薦入試(専門高校、専門学科・総合学科対象)との併願はできません。

科目・配点

入試種別	学部	本学独自試験	合計
〔専門高校、 専門学科・ 総合学科対象〕	経済学部 法学部	英語100点 + エッセー100点	200点
	経営学部 短期大学部 <small>こども教育学科</small>	国語100点 + 面接100点	200点
	政策学部	英語100点 + 小論文100点	200点
	国際学部 社会学部 農学部 短期大学部 <small>社会福祉学科</small>	小論文100点 + 面接100点	200点
	先端理工学部	数学(化学※)100点 + 小論文100点	200点
〔小論文型〕	短期大学部 <small>社会福祉学科のみ</small>	小論文100点 + 面接100点	200点

※化学は、応用化学課程および、環境生態工学課程志願者のみ選択可。

解答方式・試験時間・試験内容

入試種別	学部	科目	形式	時間	試験内容
〔専門高校 専門学科・ 総合学科対象〕	経済学部	英語	マーク式	70分	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ
		エッセー	記述式	120分	受験生の論理的思考力や文書表現力等を評価し、経済学部での学修にあたっての適性を判断します。
	法学部	英語	マーク式	70分	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ
		エッセー	記述式	90分	受験生の論理的思考力や文書表現力等を評価し、法学部での学修にあたっての適性を判断します。
	経営学部	国語	マーク式	40分	国語総合(古典を除く)・現代文B
		面接			経営学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)について事前に理解しておくことを前提に、出願書類を基にして、志望動機・これまで取得した資格・大学生生活の抱負などをふまえて適性を判定します。
	政策学部	英語	マーク式	70分	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ
		小論文	記述式	60分	受験生の文章表現力や論理性などを評価し、政策学部で学ぶにあたっての適性を判断します。
	国際学部	小論文	記述式	60分	受験生の思考力、文章構成力などを評価し、国際学部で学ぶにあたっての適性を判定します。(グローバルスタディーズ学科では英語の小論文となります)
		面接			国際学部での勉学を強く希望し入学を志す理由、学業に情熱を注ぎ続けられる意欲と勤勉さの持ち主であるか、国際コミュニケーションに重要な異文化を理解する素養を有しているかについて面接します(グローバルスタディーズ学科では日本語と英語を併用して面接を行います)。
	先端理工学部	小論文	記述式	70分	先端理工学部で学ぶ際に必要な論理的思考力を見るためにあるテーマに沿った小論文を課し、その論理性や表現力について評価します。
		数学(化学)	数学:記述式(60分) 化学:マーク式(60分)		数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B※) / 化学(化学基礎・化学)
	社会学部	小論文	記述式	60分	受験生の思考力、意見表現能力を評価し、社会学部で学ぶにあたっての適性・素質を判定します。
		面接			個人面接です。この試験では社会学部での勉学を強く希望し入学を志すのかについての適性・素質を判定します。入学後も学業に情熱を注ぎ続けることのできる強い意志を有しているかについても判定します。
	農学部	小論文	記述式	60分	受験生の論理的思考力や文書表現力等を評価し、農学部で学ぶにあたっての適性を判定します。
面接				農学部が定める入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)への深い理解を前提として、志望する学科に対する明確な動機と学修意欲などを中心に評価します。	
短期大学部	小論文	社会福祉学科 記述式(60分)		短期大学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に記載された求める能力等のうち、読み書きなどの基礎的な学力、思考力、感性、目的意識や勉学意欲を中心に評価します。	
	国語	こども教育学科 マーク式(60分)		国語総合(古典を除く)・現代文B	
	面接	社会福祉学科 こども教育学科		短期大学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に記載された求める能力等のうち、行動力、主体的に学ぶ姿勢、社会性、コミュニケーション力、感性、思考力、短期大学部の教育理念についての理解、目的意識や勉学意欲を中心に評価します。	
〔小論文型〕	小論文	記述式	60分	短期大学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に記載された求める能力等のうち、読み書きなどの基礎的な学力、思考力、感性、目的意識や勉学意欲を中心に評価します。	
	面接			短期大学部の入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)に記載された求める能力等のうち、行動力、主体的に学ぶ姿勢、社会性、コミュニケーション力、感性、思考力、短期大学部の教育理念についての理解、目的意識や勉学意欲を中心に評価します。	

※数学Bは「数列」「ベクトル」が出題範囲です。

出願資格

公募推薦入試(専門高校・専門学科・総合学科対象)

次の①・②いずれかに該当し、かつ出願する学部・学科が定める出願資格を満たす者。

- ①専門高校、高等学校の専門学科、または総合学科を2024年3月に卒業見込みの者。
- ②朝鮮高級学校の専門学科、または総合学科を2024年3月に卒業見込みの者。

■専門高校とは農業高校・工業高校・商業高校等専門教育を主とする高等学校を指します
■専門学科とは高等学校の中で農業科・工業科・商業科・水産科・家庭科・看護科・情報科・福祉科・理数科・体育科・音楽科・美術科・英語科等専門教育を主とする学科を指します

経済学部 法学部 政策学部 社会学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

経営学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

以下の出願資格を満たす者。

【商業に関する学科の場合】

高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに修得見込みの者に限る。ただし、上記単位数の中に各自治体の教育委員会が認めた商業科に関する学校設定科目を5単位まで含めることができる。

【商業に関する学科を除く専門学科・総合学科の場合】

高等学校学習指導要領に基づく専門教育に関する教科(商業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または卒業までに修得見込みの者に限る。ただし、上記単位数の中に外国語に属する科目(※2)の単位を5単位まで含めることができる。

次のいずれかの資格を取得していること(合格証書の写しを調査書に添付すること)。

■簿記実務検定2級(全国商業高等学校協会)「会計」「原価計算」ともに合格していること ■簿記検定2級(日本商工会議所)

■情報処理検定1級(全国商業高等学校協会)「ビジネス情報部門」「プログラミング部門」いずれかに合格していること ■基本情報技術者 ■ITパスポート

※1: ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス実務、マーケティング、商品開発、広告と販売促進、ビジネス経済、ビジネス経済応用、経済活動と法、簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計、情報処理、ビジネス情報、電子商取引、プログラミング、ビジネス情報管理。

※2: コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ、英語会話等。

国際学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

以下の出願資格を満たす者。

【国際文化学科】3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(外国語)の科目(※1)、および、専門教育に関する教科(英語)の科目(※2)の学習成績の状況が4.0以上であること。

【グローバルスタディーズ学科】3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(外国語)の科目(※1)、および、専門教育に関する教科(英語)の科目(※2)の学習成績の状況が4.5以上であること。普通教育に関する教科(外国語)の科目および専門教育に関する教科(英語)の科目の学習成績の状況が、4.0以上4.5未満の場合は、英語について以下の条件のうち1つを満たしていること。なお、取得したことを実施団体が証明する正式文書(写し)を高等学校調査書に添付すること。

※1: コミュニケーション英語基礎、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ、英語会話等。

※2: 総合英語、英語理解、異文化理解、時事英語等。

2021年4月1日以降に受検した資格・検定試験を有効とする

a. 実用英語技能検定(英検)2級以上 b. TOEFL iBT® 55点以上(Test Dateスコアに限る) c. TOEIC® L & R 600点以上
d. 国連英検B級以上 e. GTEC 920点以上(OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください。)

TOEFL®は、公式スコア票(Official Score Reports)または受験者控用スコアレポート(Test Taker Score Report)のいずれかを提出すること。

TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。

※実用英語技能検定は、英検1 day S-CBT、英検CBT®、英検2 day S-Interviewを含む(英検IBA®は除く)。※GTECはOFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください(CBTを含む)。

※TOEFL iBT®はTest Dateスコアに限る(「My Best™ Scores」は利用できない)。※TOEIC®はL&R IPテスト・IPオンラインテストは除く。

先端理工学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.5以上であること。

農学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が3.8以上であること。

農学科を志願する場合は、以下の出願資格を満たすこと。

【農業に関する学科の場合】高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(農業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに取得見込みの者に限る。

【専門学科・総合学科の場合】高等学校学習指導要領に基づく普通教育に関する教科(農業)の科目(※1)を25単位以上修得している者、または、卒業までに取得見込みの者に限る。ただし、「水産」、「家庭」、「商業」の教科・科目を5単位まで上記の単位数に含めることができる。

※1: 農業と環境、課題研究、総合実習、農業情報処理、作物、野菜、果樹、草花、畜産、農業経営、農業機械、食品製造、食品化学、微生物利用、植物バイオテクノロジー、動物バイオテクノロジー、農業経済、食品流通、森林科学、森林経営、林産物利用、農業土木設計、農業土木施工、水循環、造園計画、造園技術、環境緑化材料、測量、生物活用、グリーンライフ等。

短期大学部

3学期制の高等学校においては3年1学期までの、2学期制の高等学校においては3年前期までの学習成績(全体の学習成績の状況)が

社会福祉学科は3.0以上、こども教育学科は3.5以上であること。

公募推薦入試(小論文型)

次の①・②ともに該当する者。

- ①高等学校、もしくは中等教育学校を、2021年度以降に卒業した者、および2024年3月卒業見込みの者。
- ②学業、人物、ともに優秀で、出身高等学校長、もしくは中等教育学校長が推薦する者。

※本学では朝鮮高級学校の該当12校を2021年度以降に修了した者および2024年3月31日までに修了する見込みの者については出願資格を認めています。

【朝鮮高級学校: 12校】

北海道朝鮮初中高級学校 東北朝鮮初中高級学校 茨城朝鮮初中高級学校 東京朝鮮中高級学校 神奈川朝鮮中高級学校 愛知朝鮮中高級学校
京都朝鮮中高級学校 大阪朝鮮高級学校 神戸朝鮮高級学校 広島朝鮮初中高級学校 山口朝鮮高級学校 九州朝鮮中高級学校

合否判定

公募推薦入試

(専門高校・専門学科・総合学科対象)

経済学部・法学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「エッセイ」の合計点で合否を判定します。

経営学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「国語」と「面接」の合計点で合否を判定します。

政策学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「英語」と「小論文」の合計点で合否を判定します。

国際学部・社会学部・農学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「面接」の合計点で合否を判定します。

先端理工学部: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「数学」または「化学」の合計点で合否を判定します。

短期大学部 社会福祉学科: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「面接」の合計点で合否を判定します。

短期大学部 こども教育学科: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「国語」と「面接」の合計点で合否を判定します。

(小論文型)

短期大学部 社会福祉学科: すべての試験科目を受験した者を対象とし、「小論文」と「面接」の合計点で合否を判定します。